



門前町水基巡り

阿蘇神社周辺の商店街には、「水基」と呼ばれる湧水を利用した水飲み場があります。地元では、この水基を巡りながら商店街を散策できる仕組みをつくり、魅力アップとにぎわいのある商店街づくりを進めています。



地域を活性化する商店街の取り組み

阿蘇市では、行政・各種団体・地域住民が一丸となり、地域活性化に取り組んでいます。

宮地地区は、阿蘇神社の門前町として、神社の参道から延長して商店街が形成されています。株式会社まちづくり阿蘇一の宮（TMO構想）による阿蘇神社の周辺整

備や、一の宮ボランティアガイドによるサービスの実施や「阿蘇門前町商店街振興協会」の活動が活発です。水基巡りを核とした地域おこしで商店街の結束と意欲を高めています。

その活動が実を結び、現在では1年を通して観光客が訪れるなど、阿蘇市を代表する商店街となっています。



内牧地区は、明治30年から温泉郷として栄え、温泉街の道沿い約1キロメートルに商店街が形成され、地元と密着した商店街として、なくてはならない存在となっています。

内牧温泉街では、商店主による「内牧温泉街繁栄会」を組織し、昼夜の賑わいをつくるまちづくりのビジョンと活性化に向けた方策を検討しています。

また、経営者の意識向上のため、内牧温泉の旅館のおかみさんによる勉強会の実施や、商店主による地域づくり活動など、活性化に向けて取り組んでいます。



内牧温泉街繁栄会の活動



内牧温泉

阿蘇五岳（涅槃像）を正面に望むロケーションが魅力の内牧温泉。歴史も古く、夏目漱石や与謝野鉄幹・晶子夫妻など多くの文豪も足を運んでいます。阿蘇地域最大の温泉郷で、歩いて巡る事ができるエリアに町湯5軒、旅館・ホテル約15軒が点在しています。それぞれ自家源泉を持ち、新鮮な湯が掛け流しされています。夜の温泉街とともに外国人観光客の利用も増えています。



阿蘇山火山避難休憩施設

火山見学者用に令和5年度完成した「阿蘇山火山避難休憩施設」。火山ガスの避難所を兼ねた休憩所で、通常は大画面での映像や展望テラスでの眺望が楽しめます。同施設屋外に建立した御製碑は天皇陛下が皇太子時代に行啓で火口を見学されその雄大さに感動されお詠みになられた歌の碑です。

「蒼き水 たたふる 阿蘇の火口より
噴煙はのぼる 身にひびきつつ」



御製碑

企業誘致で持続可能なまちづくり

国道57号の現道に加え、北側復旧道路（高規格道路）も開通し、飛躍的にアクセスが向上しました。

今後も優良企業や施設の誘致に努め、若い世代のための魅力ある就業機会の創出に積極的に取り組みます。



内牧温泉街に誘致したサテライトオフィス